

	
Canon	
ネットワークカメラ	
VB-H43 / VB-M42	
設置ガイド	

キヤノンネットワークカメラ（以降、カメラ）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
VB-H43 と VB-H43B、および VB-M42 と VB-M42B の違いは外観色のみです。ご使用の前に、必ず『設置ガイド』（本書）と『操作ガイド』（セットアップ CD-ROM に収録）をお読みください。この設置ガイドは、天井取付用カバー（オプション）を用いたカメラの設置方法について説明しています。「安全にお使いいただくために」の項を必ずお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後、この設置ガイドはいつでも見られる場所に保管してください。また、屋内ドームハウジング（オプション）を用いたカメラの設置方法については、屋内ドームハウジングと同梱の『設置ガイド』をお読みください。なお、カメラの使用方法は『操作ガイド』で詳しく説明しています。ご使用前によくお読みになって、カメラを正しく利用してください。

* 製品に関する最新情報（ファームウェアや同梱ソフトウェア、使用説明書、動作環境など）は、ホームページをご確認ください。
製品紹介ホームページ：canon.jp/webview
* 本書に記載しているカメラには、国または地域によって販売していない機種もあります。

⚠️注意	カメラの設置工事は必ず専門の工事業者に依頼し、お客様ご自身では絶対に設置工事をしないでください。落下・感電など、思わぬ事故の原因になります。
-------------	--

同梱品の確認

本製品には次のものが入っています。不足品がある場合は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 1. VB-H43/VB-H43B または VB-M42/VB-M42B | 4. 設置ガイド（本書） |
| 2. 電源用コネクター | 5. 保証書 |
| 3. セットアップ CD-ROM | |

カメラのシリアル No. と MAC アドレス（カメラ底面のシールに記載）を下欄にご記入の上、この設置ガイドを大切に保管してください。	
シリアル No.	<input type="text"/>
MAC アドレス	<input type="text"/>

© CANON INC. 2016	Printed in Taiwan
-------------------	-------------------

映像・音声の利用によるプライバシー・肖像権の注意

カメラの使用（映像・音声）につきましては、お客様の責任でプライバシーの保護や肖像権の侵害防止などに十分なご配慮のうえ、行ってください。例えば、特定の建築物や屋内などが映し出される場合には、事前にカメラ設置の了承を得るなど対応してください。弊社では一切の責任を負いません。

法律上の注意事項

カメラによる監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品をご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。

安全上の注意を示す記号

この設置ガイドでは製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。表示の内容を十分理解して作業を行ってください。

⚠️警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠️注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。必ずこの注意事項をお守りください。
⚠️火災注意 ⚠️感電注意 ⚠️指挟み	これらの記号を無視して取り扱いを誤った場合に、火災、感電または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
🚫禁止 🚫分解禁止 🚫水ぬれ禁止	これらの記号は、禁止事項を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれている場合もあります。
📌指示	この記号は、必ず実行していただく指示の内容を示しています。
📖重要	この記号は、重要事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。
💬メモ	操作の参考になることや補足説明が書かれています。

安全にお使いいただくために

カメラをお使いいただくうえで、必ず守っていただきたい注意事項について説明します。守られない場合、けがや死亡事故、物的損害が発生することがありますので、よくお読みになったうえ、必ずお守りください。

⚠️警告	次の場所には設置しないでください。 <ul style="list-style-type: none">強い直射日光が当たるところや発熱体のそばなど、温度が高くなるところ 火気の近くや引火性溶剤（アルコールやシンナー、燃料など）の近く 湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気が当たるところ 潮風の当たるところ 密閉された狭い場所 火災、感電の原因になります。
-------------	--

⚠️注意

📌指示	カメラの設置および点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。 <ul style="list-style-type: none">電源およびネットワークなどの配線工事は、電気設備技術基準などの関連法規に従い、安全・確実に行ってください。 設置時は、オプション品とカメラを含む総重量に耐える十分な強度があることを確かめ、必要に応じて十分な補強を行ってください。 落下によるけがや機器の破損を防止するため、取付金具やネジのさびつき、ネジの緩みがないか定期的に点検を行ってください。
------------	---

🚫禁止	<ul style="list-style-type: none">不安定な場所、激しい振動や衝撃のある場所、塩害や腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。 カメラは垂直な面（壁面など）には取り付けられません。 設置時には必ず落下防止用ワイヤーを取り付けてください。 落下など事故の原因になることがあります。
------------	--

📌指示	<ul style="list-style-type: none">金属部のエッジには素手で触れないでください。 金具と天井の間などに指を挟み込まないように注意してください。 けがの原因になることがあります。
------------	--

🚫禁止	<ul style="list-style-type: none">カメラヘッド部を持たないでください。 カメラ回転部を手で回さないでください。 不安定なところや傾斜したところには設置しないでください。 結露がある場合には、結露がなくなってから電源を入れてください。 故障の原因になることがあります。
------------	--

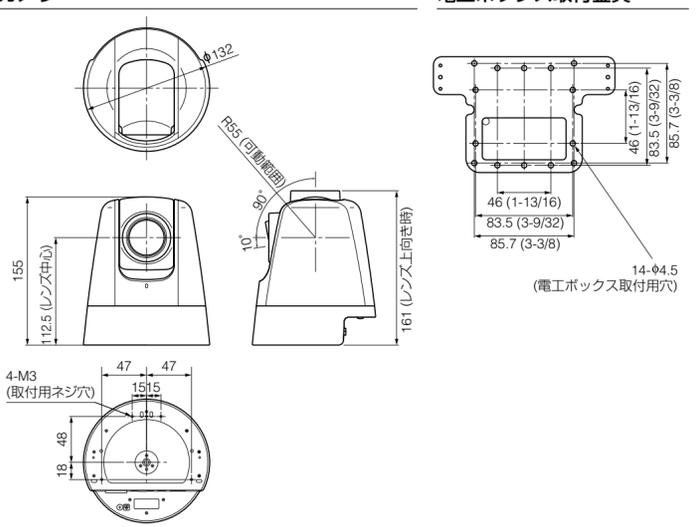
📌指示	<ul style="list-style-type: none">屋内配線や配管を傷つけないように注意してください。 周辺の物品への損害の原因になることがあります。
------------	--

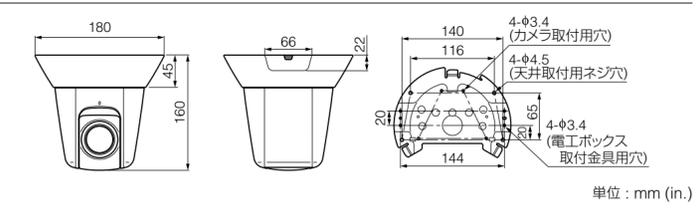
⚠️警告

📌指示	<ul style="list-style-type: none">発煙、異音、発熱、異臭などの異常を発見したときは、直ちに使用を中止し、最寄りの販売店にご連絡ください。 継続して使用すると火災、感電の原因になります。
------------	--

🚫禁止	<ul style="list-style-type: none">雷が鳴り始めたら、設置や点検などの作業を中止し、カメラや接続ケーブルなどに触れないでください。
🚫分解禁止	<ul style="list-style-type: none">分解、改造はしないでください。
🚫水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none">接続ケーブル類を傷つけないでください。
⚠️火災注意	<ul style="list-style-type: none">カメラの内部に水などの液体を入れたり、カメラに水をかけたり濡らしたりしないでください。
⚠️感電注意	<ul style="list-style-type: none">カメラの内部に異物を入れないでください。 カメラの近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。 カメラを長期間使用しないときは、カメラに LAN ケーブルや外部電源、ACアダプター（オプション）の電源用コネクターを繋いだままにしないでください。
⚠️感電注意	<ul style="list-style-type: none">お手入れの際にアルコールやシンナー、ベンジンなど引火性溶剤を使用しないでください。 火災、感電の原因になります。

外形寸法図

カメラ	電工ボックス取付金具
	

天井取付用カバー	
	単位：mm (in.)

使用説明書について

- 設置ガイド（本書）
カメラ設置上の注意、天井取付用カバー（オプション）を用いたカメラの設置手順、カメラの主な仕様を説明しています。
- 操作ガイド（セットアップ CD-ROM に収録）
カメラの初期設定、管理ツールの設定、ビューワの操作、トラブルシューティングなどを説明しています。

対応カメラ機種を示す記号について

カメラ機種によって使用が制限される機能には、次の記号を使って対応できる機種を示しています。
H43 : VB-H43
M42 : VB-M42

主な仕様

カメラ部	1/3 型CMOS（原色フィルター） <p>H43 約 210 万画素 M42 約 130 万画素</p> プログレッシブ方式 オートフォーカス機能付光學20 倍ズームレンズ（デジタルズーム12 倍） 4.7 (W端) ～ 94 mm (T端) F1.6 (W端) ～ F3.5 (T端) アスペクト比16:9の場合 水平画角：60.4° (W 端) ～ 3.2° (T 端) 垂直画角：35.1° (W 端) ～ 1.8° (T 端) アスペクト比4:3の場合 水平画角：46.3° (W 端) ～ 2.4° (T 端) 垂直画角：35.1° (W 端) ～ 1.8° (T 端) オート/デイモード/ナイトモード
デイナイト機能 最低被写体照度 デイモード（カラー）	0.4 lux (F1.6、シャッタースピード 1/30 秒時、スマートシェード補正off 時、SOIRE 時) 0.03 lux (F1.6、シャッタースピード 1/2 秒時、スマートシェード補正off 時、SOIRE 時) 0.01 lux (F1.6、シャッタースピード 1/2 秒時、スマートシェード補正on 時、SOIRE 時) 0.02 lux (F1.6、シャッタースピード 1/30 秒時、スマートシェード補正off 時、SOIRE 時) 0.002 lux (F1.6、シャッタースピード 1/2 秒時、スマートシェード補正off 時、SOIRE 時) 0.001 lux (F1.6、シャッタースピード 1/2 秒時、スマートシェード補正on 時、SOIRE 時)
フォーカス 撮影距離（レンズ先端より）	オート/ワンショットAF/マニュアル/無限遠固定 デイモード：W端 0.3 m ～ ∞、T端 1.0 m ～ ∞ ナイトモード：W端 1.0 m ～ ∞、T端 1.5 m ～ ∞ [⌂] を使用する) に選択時： デイモード：W 端、T 端とも 2.0 m ～ ∞ ナイトモード：W 端 1.0 m ～ ∞、T 端 2.2 m ～ ∞
シャッタースピード	1、1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/8000、1/10000、1/16000 秒
露出	オート/オート（フリッカーレス)/オート（シャッター優先)/マニュアル（シャッタースピード、絞り、ゲイン）
ホワイトバランス	オート/光源選択（蛍光灯昼光色/蛍光灯白色/蛍光灯暖色/水銀灯/ナトリウム灯/ハロゲン灯)/マニュアル（ワンショットWB/Rゲイン/Bゲイン） 中央部重点測光/平均測光/スポット測光
測光方式 露出補正 スマートシェード補正	9 段階 オート/マニュアル/使用しない オートの場合：3 段階 マニュアルの場合：7 段階 明暗の差がある映像において暗い部分を明るく補正する機能 オート/マニュアル/使用しない オートの場合：3 段階 マニュアルの場合：7 段階
かすみ補正	

AGCリミット
ブレ補正
パン角度範囲
チルト角度範囲
駆動速度

サーバー部	JPEG、H.264 <p>H43 JPEG、H.264：1920 x 1080、960 x 540、480 x 270 1280 x 720、640 x 360、320 x 180 1280 x 960、640 x 480、320 x 240</p> <p>M42 JPEG、H.264：1280 x 720、640 x 360、320 x 180 1280 x 960、640 x 480、320 x 240</p>
映像品質 フレームレート*2	JPEG、H.264：5 段階 JPEG：0.1 ～ 30 fps H.264：1/2/3/5/6/10/15/30 fps <p>H43 JPEG、H.264（1920 x 1080）配信時：30 fps ただし、次の組み合わせの場合 H.264(1)（1920 x 1080）とH.264(2) すべてのサイズの同時配信時：15 fps H.264(1) すべてのサイズとH.264(2)（1920 x 1080）の同時配信時：15 fps H.264(1)（1280 x 960）とH.264(2)（1280 x 960）を同時配信時：15 fps H.264(1)（1280 x 720）とH.264(2)（1280 x 720）を同時配信時：15 fps M42 JPEG、H.264（1280 x 960）配信時：30 fps ただし、次の組み合わせの場合 H.264(1)（1280 x 960）とH.264(2)（1280 x 960）を同時配信時：15 fps H.264(1)（1280 x 720）とH.264(2)（1280 x 720）を同時配信時：15 fps 0.5/1/1.5/2/3/4/5 秒 最大30 クライアント+管理者1 クライアント H.264は最大10 クライアント</p>
最大フレームレート	管理者、登録ユーザ、一般ユーザごとに制御管理 登録ユーザは最大50ユーザのユーザ名とパスワードを設定 ユーザ制限（ユーザ名とパスワード）、ホストアクセス制限（IPv4、IPv6） SSL/TLS、IPsec（自動鍵交換/手動設定） EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-PEAP IPv4：TCP/IP、UDP、HTTP、FTP、SNMPv1/v2c/v3 (MIB2)、SMTP（クライアント）、DHCP（クライアント）、DNS（クライアント）、mDNS、ARP、ICMP、POP3、NTP、SMTP認証、RTSP、WV-HTTP（キヤノン独自）、ONVIF
接続制限 暗号化通信 IEEE 802.1X プロトコル	IPv6：TCP/IP、UDP、HTTP、FTP、SMTP（クライアント）、DHCPv6（クライアント）、DNS（クライアント）、mDNS、ICMPv6、POP3、NTP、SMTP認証、RTSP、WV-HTTP（キヤノン独自）、ONVIF

AutoIP 音声圧縮方式 音声通信方式	○ G.711 <i>μ</i> -law (64 kbps) 全二重（双方向通信） エコーキャンセラー機能対応 キヤノン独自音声配信プロトコル
音声ファイル再生*3	○（インテリジェント機能や外部デバイス入力によるイベント発生時に音声ファイルを再生） 登録数：最大8箇所、マスクの色数：1色（9色から選択）
プライバシーマスク 可視範囲制限 プリセット インテリジェント機能	○ 最大64箇所 （映像） 検知種別：動体検知、置き去り検知、持ち去り検知、いたずら検知、通達検知 検知設定：最大15

イベントのトリガー種別	（音量）音量検知 外部デバイス入力、インテリジェント機能（映像）、インテリジェント機能（音量）、タイマー
アップロード	FTP/HTTP/SMTP（メール） 本体一時保存メモリー：最大約5 MB フレームレート：JPEG 最大10 fps H.264 最大30 fps
イベント通知 オンスクリーン表示 サマータイム設定 カスタム設定	HTTP/SMTP（メール） ○ ○ 登録数：4 登録項目：パン/チルト/ズーム、露出、スマートシェード補正、かすみ補正、フォーカス、ホワイトバランス、画質調整、デイナイト

表示言語	ドイツ語/英語/スペイン語/フランス語/イタリア語/ロシア語/トルコ語/中国語（簡体字）/日本語
*ONVIF は、ONVIF Inc. の商標です。	

インターフェース	
ネットワーク端子*4 音声入力端子（LINE IN/MIC IN兼用）	LAN x 1 (RJ45、100Base-TX（オート/全二重/半二重）) φ3.5 mmミニジャックコネクター（モノラル） LINE INとMIC INは設定ページで切り換え LINE IN x 1（アンプ付きマイクと接続）またはMIC IN x 1（アンプなしマイクと接続）
音声出力端子（LINE OUT） 外部デバイス入出力端子メモリーカード	φ3.5 mmミニジャックコネクター（モノラル） LINE OUT x 1（アンプ付きスピーカーと接続） 入力 x 2、出力 x 2 SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード対応 フレームレート：JPEG 最大1 fps H.264 最大30 fps

その他	
動作環境 電源	温度：-10℃ ～ +50℃ 湿度：5% ～ 85%（結露不可） PoE機能：LANコネクターによるPoE給電対応（IEEE802.3af クラス0 規格準拠） 専用ACアダプター：PA-V18（オプション）（AC 100 ～ 240 V） 外部電源：AC 24 V/DC 12 Vに対応 PoE入力：最大約 9.2 W *5 ACアダプター PA-V18入力：最大約 9.9 W（AC 100 V） 最大約 9.4 W（AC 240 V）
消費電力	DC入力：最大約 8.6 W AC入力：最大約 8.8 W (φ x H) φ132 x 155 mm カメラのみ（カメラが水平を向いたときの高さ、天井取付用金具除く）
寸法	約 1140 g（カメラ） 約 270 g（天井取付用金具、天井取付用カバー） 約 108 g（電工ボックス取付金具）
質量	

*1 (W 端)：ワイド端、(T 端)：テレ端

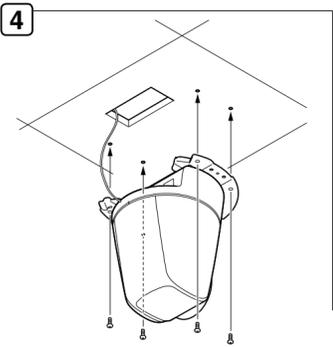
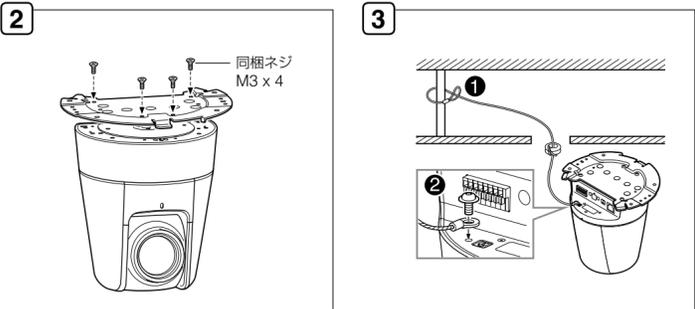
*2 カメラの配信性能の数値である。ビューワ用の PC の性能や同時接続クライアント数、ネットワークの負荷状況、映像品質設定および被写体などによっては、フレームレートが低下する場合がある

*3 別売のアンプ付きスピーカーが必要

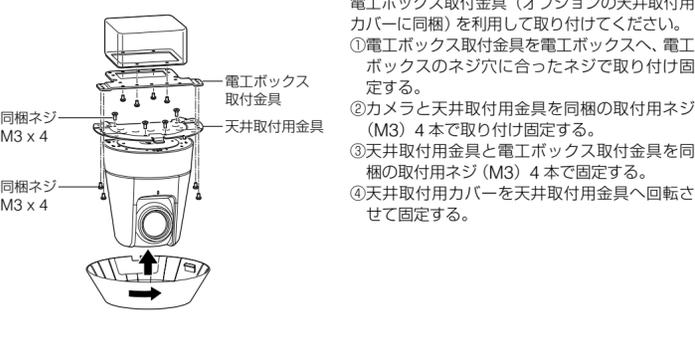
*4 LAN ケーブルは、カテゴリー 5 以上で長さ 100 m 以下

*5 給電装置に対しては、クラス 0 (15.4 W を要求)

本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

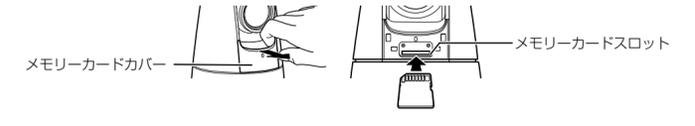


電工ボックスご利用の場合



メモリーカードご利用の場合

メモリーカードカバーは、左右の引っ掛かりに指をあて、手前に引くと外れます。取り付けるときは、外したときと逆の順に、はめ込んでください。



入れ方

メモリーカードをメモリーカードスロットの奥に突き当たるまで押し込んでください。

取り出し方

メモリーカードを奥まで押すと、カードが少し飛び出しますので、指でつまんで引き出しててください。

重要

- メモリーカードはカメラを設置する前に入れてください。
- メモリーカードが、書き込み禁止状態でないことを確認してください。
- カメラで初めて使用するメモリーカードは、カメラに入れた後、最初にフォーマットすることを推奨します（『操作ガイド』『設定ページ』の「メモリーカード」参照）。

電源に関する注意

警告

- 禁止**
- ACアダプターをご利用の際は、専用のACアダプター（オプション）以外使用しないでください。
- 電源ケーブル（PoE給電の場合はLANケーブル）に重いものを載せないでください。
- 電源ケーブル（PoE給電の場合はLANケーブル）を引っ張る、無理に曲げる、傷つける、加工するなどしないでください。
- ACアダプター（オプション）は、布や布団で覆ったり包んだりしないでください。火災や感電の原因になります。

注意

- 禁止**
- 初期化動作中は絶対にカメラヘッドに触らないでください。正しく初期化されなかったり、故障の原因になる場合があります。
- 電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと動作不良の原因になることがあります。

カメラを設置する

天井取付用カバー SS40-S-VB/SS40-B-VB（オプション）を用いて、カメラを天井に取り付ける手順を説明します。

カメラを設置する前に、セットアップCD-ROMの「カメラマネジメントツール」を使って、カメラにIPアドレスなどのネットワーク情報を設定してください。「カメラマネジメントツール」の詳細な操作方法については、『カメラマネジメントツール使用説明書』を参照してください。

1 カメラの設置位置を決め、天井に穴を開ける

天井取付用カバー（オプション）に同梱の型紙を使い、カメラの方向に合わせて、取り付け用ネジ穴位置と配線用穴位置を決め、天井に穴（43 x 84 mm）を開けます。型紙は、印字面が見えるようにしてご使用ください。

2 カメラに天井取付用金具を取り付ける

天井取付用カバー（オプション）に同梱の取付用ネジ（M3）4本で固定します。

3 落下防止用ワイヤーを固定する

落下防止用ワイヤーをアンカーや構造物にしっかり取り付けます。天井側に付けた後に、カメラ側にも落下防止用ワイヤーを、カメラに締結されているネジで固定します。

重要

コンクリート天井などで配線用穴を開けられない場合は、適切な場所に固定してください。

4 天井に天井取付用金具を固定する

天井取付用金具の4箇所を、適切なネジで固定します。天井取付用金具には、φ4.5 mmのネジ穴が4箇所開いています。天井側の取り付け用ネジ穴に合ったネジをご用意ください。

5 配線用穴から通したLANケーブルをカメラに接続する

ACアダプター（オプション）や外部電源をご使用の場合は、電源用コネクタとカメラを接続します。必要に応じて、外部デバイス入出力端子や音声入出力端子にケーブル類を接続します。

6 天井取付用カバーを取り付ける

天井取付用カバー上にある（○）印をカメラ後部の（I）印に合わせて、時計回りに（I）印の位置まで回して取り付けます。

天井取付用カバーが確実にとまっているか、確認してください。

メモ

コンクリート天井などでケーブルが天井裏に取まらない場合や、ケーブルが天井取付用カバーに入りきらない場合は、天井取付用カバーの切り欠き部分をニッパーなどで折って、ケーブルを通す切り欠きを作ってください。



7 設置が完了したら、カメラを再起動する

カメラ位置が初期化されます（『操作ガイド』『設定ページ』の「メンテナンス」参照）。

重要

カメラは、正位置で使用することができます。傾斜のない平らで安定した場所に、市販の滑りどめ部材をカメラの底面に付けて設置するか、三脚などに固定してご使用ください。三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5 mm未満のものをご使用ください。5.5 mm以上のものを使用すると、カメラが破損することがあります。また、三脚の台座は直径 30 mm以上のものをご使用ください。

オプションについて

次の専用オプションは必要に応じて別途お買い求めください（国または地域によっては販売していないオプションもあります）。カメラを天井に取り付けるためには、天井取付用カバーまたは屋内ドームハウジングが必要です。

天井取付用カバー SS40-S-VB/SS40-B-VB

カメラを天井に取り付ける際に使用する専用オプションです。シルバー（SS40-S-VB）、黒（SS40-B-VB）の2色が用意されています。

屋内ドームハウジング DR41-C-VB/DR41-S-VB

カメラを天井に埋め込んで設置できる専用オプションです。クリア（DR41-C-VB）とスモーク（DR41-S-VB）の2色が用意されています。

ペンダント設置キット PC600-VB

高天井の大型店などで、天井から延びたパイプの先へカメラを取り付けるための専用オプションです。

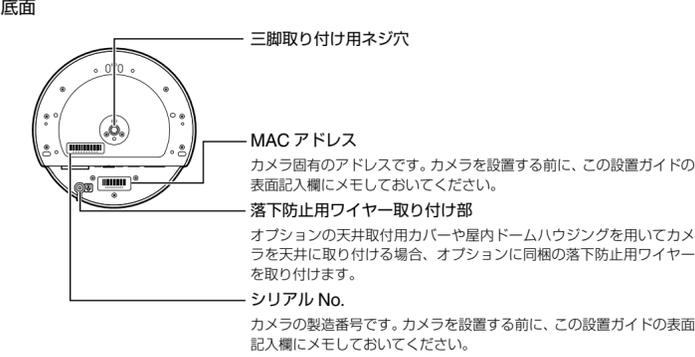
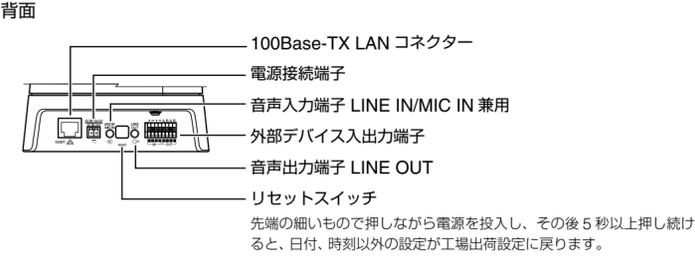
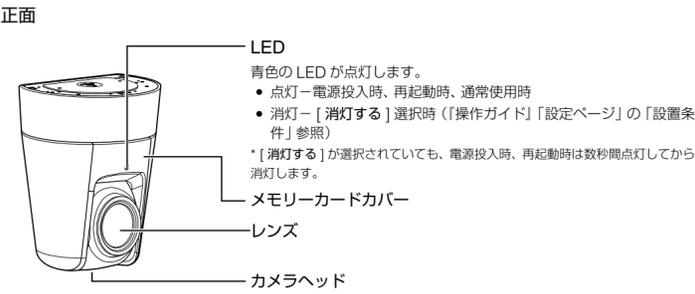
重要

このオプションを使用した場合、天井とパイプの設置状況によっては、天井の振動以上にカメラが大きく揺れることがあります。カメラアングルがずれてしまったときは、パン・チルト操作でカメラアングルを再調整してください。

キャノン ACアダプター PA-V18

カメラの専用ACアダプターです。

各部の名称



カメラを接続する

電源の接続

カメラは、次の3通りの方で電源を供給できます。各電源装置に付属する使用説明書を必ず読んでからご使用ください。

メモ

- カメラには電源スイッチがありません。LANケーブル（PoE給電）、ACアダプターや外部電源の電源プラグを抜き差しすることで、電源の入/切をします。
- カメラを再起動する必要があるときは、カメラの設定ページから再起動の操作を行ってください（『操作ガイド』『設定ページ』の「メンテナンス」参照）。

■PoE（Power over Ethernet）

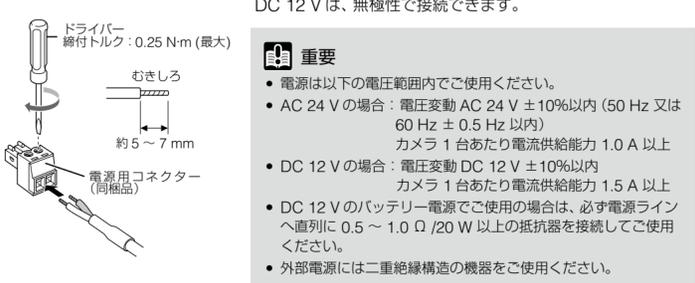
PoE機能を搭載しています。IEEE 802.3af に準拠したPoE対応HUBから、LANケーブルを通じて電源をカメラに供給できます。

重要

- PoE対応HUBやMidspanについては、販売店へご確認をお願いします。Midspan（LANケーブル給電装置）は、PoE対応HUBと同様にLANケーブルを通じてカメラに電力を供給する機器です。
- PoE対応HUBによっては、ポートごとに使用電力を制限できるものがありますが、制限をかけると正しく動作しないことがあります。この場合は、制限をかけないでご使用ください。
- PoE対応HUBによっては、各ポートの合計消費電力の制限がある場合があり、複数のポートを使用する場合に正しく動作しないことがあります。ご使用のPoE対応HUBの使用説明書をご確認ください。
- PoE対応HUBからの給電状態で、カメラにACアダプター（オプション）を接続することもできます。この場合、PoE給電の状態ではPoE給電が優先され、ACアダプター（オプション）からの給電は使用しません。PoE給電が切断されると、自動的にACアダプター（オプション）から給電されます。

■外部電源

DC 12 V入力・AC 24 V入力が可能です。同梱の電源用コネクタを、次の図のように接続してください。



ケーブル (AWG)	24	22	20	18	16
DC 12 V 最大ケーブル長 (m)	5	9	14	23	32
AC 24 V 最大ケーブル長 (m)	11	18	29	46	64

DC 12 VまたはAC 24 Vの配線にはULケーブル（UL-1015 相当品）をご使用ください。

■ACアダプター

カメラの専用ACアダプター（オプション）を利用してください。

外部デバイス入出力端子

外部デバイス入出力端子には、入力および出力がそれぞれ2系統あり、ビューワーで外部デバイス入力の状態確認と外部デバイス出力の操作ができます（『操作ガイド』の「外部デバイス出力の操作」「イベントの状態を表示する」参照）。

■外部デバイス入力端子（IN1、IN2）

外部デバイス入力端子は2端子の組2つ（IN1、IN2）で構成され、一端子は本体内部のGNDに接続されています。+端子と−端子に2線のケーブルを接続し、両端子間を電氣的に導通状態または絶縁状態にすることで、ビューワーに通知します。

重要
<ul style="list-style-type: none">接続するセンサーやスイッチは、それぞれの電源やGNDと電氣的に分離された端子を接続するようにしてください。 外部デバイス入出力端子のボタンを押し込み過ぎないでください。ボタンが戻らなくなる場合があります。

■外部デバイス出力端子（OUT1、OUT2）

外部デバイス出力端子は2端子の組2つ（OUT1、OUT2）で構成されています。それぞれの組に極性はありません。ビューワーからの制御により、2端子間を導通状態と絶縁状態に切り換えることができます。出力端子は光結合素子を用い、本体の内部回路とは分離されています。

出力端子に接続する負荷は次の定格の範囲内で使用してください。出力端子間の定格：DC 最大電圧 50 V 連続負荷電流 100 mA 以下 オン抵抗：最大 30 Ω	内部接続図
メモ <p>外部デバイス用ケーブルの適応電線 単線 AWG No. 28 ~ 22 ケーブルのむきしろは約 8 ~ 9 mm にしてください。</p>	

音声入出力端子

音声入出力端子には、入力および出力がそれぞれ1系統あります。カメラにマイクやアンプ付きスピーカーなどの音声入出力機器を接続すると、ビューワーを通じて、音声の送受信ができます。

■音声入力 LINE IN/MIC IN 兼用（モノラル入力）

カメラの音声入力は1系統ですが、ライン・インとマイク・インの2種類のマイクをサポートしています。設定ページから[音声入力モード]を切り換えてご使用ください（『操作ガイド』の「音声入力モード」参照）。工場出荷設定は、ライン・インに設定されています。

入力端子：φ3.5 mmミニジャック（モノラル）

- ダイナミックマイク・イン設定時
入力インピーダンス：1.5 k Ω ± 5%
* 対応マイク 出力インピーダンス：400 Ω ~ 600 Ω
- コンデンサーマイク・イン設定時
入力インピーダンス（マイクバイアス抵抗）：2.2 k Ω ± 5%
マイク電源：プラグインパワー（電圧：2.3 V）方式
* 対応マイク プラグインパワー方式対応コンデンサーマイク
- ライン・イン設定時
入力レベル：最大 1 Vp-p
* アンプ付きマイクをご使用ください。

■音声出力端子 LINE OUT（モノラル出力）

カメラとアンプ付きスピーカーを接続します。ビューワーから音声をスピーカーへ送信できます。出力端子：φ3.5 mmミニジャック（モノラル）

出力レベル：最大 1 Vp-p

* アンプ付きスピーカーをご使用ください。

重要

- [音声入力モード] の設定を間違えて使用した場合、カメラやマイクの故障の原因になりますので、正しく設定してください。
- ご使用のマイクの特性で、音量・音質などが変化する場合があります。
- 映像と音声は、同期しないことがあります。
- ご使用のPCの性能やネットワーク環境によっては、音声途切れることがあります。
- 最大 30 クライアントに対して、映像と音声配信できます。ただし、配信するクライアントが多い場合やSSL接続時には、音声途切れることがあります。
- ウイルス対策ソフトウェアをご使用の場合、音声途切れることがあります。
- LANケーブルの抜き差しを行うなどで、通信が一時的に途切れると音声切断されるので、ビューワーから再接続してください。